

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ゆらり

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 4 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	日々の情緒の安定度や日内変動の生じる認知症度が一定でない為	現状が三分の一なので半数の利用者が戸外の行きたいところへ出かけて行ける様に支援する。	施設内にて、レクリエーションや利用者同士の会話、職員とのコミュニケーションを深めて、利用者様が共同生活の和をより一層深め、小集団で行動できる楽しさを実感できる様に支援する。	8ヶ月
2	56	個々の利用者様におかれましては、言語障害や自己主張の表現の表出が困難な方がいる為	利用者様の思いや願い、望む暮らしにむけた潜在化や顕在化された部分をいち早く導き出し、個人、個人の希望とニーズがより近く合致できるように支援する。	利用者様の生活暦や暮らし方を分析して、現況の生活にて楽しみや趣味を導き出し、その人らしい暮らしを実現する。	6ヶ月
3	64	利用者様の家族以外に交流が少ない。	積極的に地域住民やボランティアに対し、施設の取り組みや行事に参加して頂く。	グループホームという施設に対し、理解者や応援者が増えていくよう、また施設が地域住民やボランティアを受け入れられる体制を整備する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。